



すずしろ 22 2018 2月報

発行責任者 合津秀雄
080 1351 4860

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

『 援 農 』 活 動 状 況

1月下旬 大寒波が八王子を包み 22日には降雪 そして25日には氷点下8℃を記録しました。寒さの中の援農参加 大変ご苦労様でした。ありがとうございました。

1月 の 援農状況

援 農 時 間	930 時間	[昨年同月	1048 時間]
受 入 農 家	14 軒	[16 軒]
参 加 会 員	39 人	[39 人]



早くも 農家軒下の福寿草

援農体験記

『 援農活動 に 参加して 』

相模原町 古瀬正博

昨年の秋に入会した新人です。簡単に自己紹介しますと、生まれは雪国山形です。18歳で東京に出て来て50年余りになりますが、毎年春と秋に2度里帰りをしています。いつの間にか、昨年の11月に古希を迎え70の大台?に乗りました。すずしろとの出会いは、総務担当の佐藤瑞恵さんの紹介です。農作業はほとんど初めてですが、現在も神奈川県立公園で畑耕作のボランティアに参加しているので、どういう作業をするかは理解しているつもりです。

昨年はたった2回の活動参加でした。1回目は里芋畑の除草作業。3時間と限られた時間の中で、先輩と3人でもくもくと作業しましたが、なかなかかどりませんでした。2回目は畑に敷いてある防草シートの撤去。長いものは200メートル?もあり、慣れない作業と重量に四苦八苦。作業自体は決して楽なものではありませんが、休憩時間の一時、人生の先輩方とのコミュニケーションが疲れを癒し、今後の勉強になります。

今年は都合のつく限り参加回数を増やすことで、新たな出会いとコミュニケーションを楽しみにしております。今後とも、皆さまのご指導ご鞭撻をいただきながら頑張る所存です。

農園だより

みなさんのおかげです

新宿区 永井佐代子

1年目は、初めて好きなものを自由に植えられる畑を手に入れた喜びで、手当たり次第に種をまきました。しかし、畑から遠いため、一緒に畑を借りた妹とずらしても週に二回通うのがせいぜいで、たくさんのオクラが大きくなり過ぎてしまいました。畑を借りている別の方から苗をいただいたなすは、長かったり丸かったりうす緑色だったり、楽しい実を次々につけました。旅行で道の駅に寄ると、豆がすべて種に見えるので、少しずつ食べずに残してまきましたが、秋の雨の時期にバツタがたくさん出て、ほとんど収穫できませんでした。里芋は大きく育て、一人では掘るのもばらすのも持ち帰るのも大変でした。

2年目に植えたかぼちゃの苗は、おそらく植え付け後の水不足で、次に行った時には消えていました。収穫が遅くなったさつまいもはとろけ、落花生は鳥にすいぶん食べられてしまいました。それでも、この年も里芋は立派に育ち、妹の友人が子連れで収穫してくれ、大いに助かりました。

電車と徒歩で通っているためあきらめていたのですが、先日 畑にご用意いただけただので、3年目にしてついに堆肥をまきました。ますますの収穫を期待して、今年も楽しく畑に通えそうです。



八王子市広報での募集を行い ご応募いただいた方6名 すずしろ22会員5名 その他5名で合計16名の方に参加頂きました。



石川さん
八幡さん

和風の味付けをピラフにアレンジした 鶏ごぼうピラフ は男性にも好評でした。
上新粉でとろみをつけたクリーム煮は子供でも作れる一品。

今回は 江戸東京野菜コンシェルジュの石川敏之さん(すずしろ22 会員)に高倉大根、滝野川大長人参をお持ち頂いて、八王子野菜(市販流通)との食べ比べも行いました。

滝野川大長人参は「子供の頃食べた人参の味」と参加者の声。

在来作物、種子、江戸東京野菜などのお話に、参加頂いた皆さんは興味深く耳を傾けていました。コラボ企画、また考えたいと思いました。(佐藤 記)



江戸東京野菜は 江戸期から始まる東京の野菜文化を継承するとともに種苗の大半が自給または近隣の種苗店により確保されていた昭和中期までのいわゆる 在来種または在来の栽培法などに由来する野菜のこと。現在 48 種を登録。八王子に直接関係するものは3種類。(JA 東京 より)

○ 高倉大根

八王子高倉町の特産品
「織物の街八王子の沢庵」
葉の部分を含めると
1m 越えの大きさ

○ 川口エンドウ

s30 年代 川口農協が
生産から販売までの
一貫した生産指導により
特産化 美山・川口町等

○ 八王子しょうが

昭和初期加住町で栽培開始
江戸時代からの現在に続く
永福神社「生姜祭り」が著名
加住・小比企・川口・中野町等

1 月度 定例理事会 より

1月12日 由井市民センター

- | | |
|-----------|---|
| ① 総会について | 開催日:2月25日(日) 会場:市役所食堂 総会後の講演会 の確認 |
| ② 総会委任状 | 都のガイドフォーム・他団体様式の紹介 委任状の決定 |
| ③ 総会までの日程 | 議案の作成 -1/19 読み合わせ -2/5 確認 -2/7 印刷 -2/9 発送 |
| ④ 窓口会議 | 1/16 の開催について会場・内容などの報告 |
| ⑤ 市民農園の整備 | 冠水対策について市役所と相談し対象農家への依頼へ |
| ⑥ 各種イベント | 市民活動協議会新春交流会・「オトパ」について 等 |



事務局からの お知らせ

人材 - 農家需要 と 市民意欲のマッチング

(1) 立春寒波

今年は2月4日(日)が立春。春とは名ばかりの厳しい寒さが つづきます。「立春寒波」ということばが報じられています。ご自愛いただいたの援農への参加方 お願いします。

(2) 小比企地区 市民農園 の整備

- ・大雨時の冠水対策 一市役所・近隣農家と検討。排水溝の新設を計画しました。
- ・たい肥小屋づくり一農園会員の要望をふまえ近くの牧場から堆肥を入手・ストックします。

(3) すずしろ22 平成30年度 総会

総会を 2月25日(日) 10:00 より 市役所食堂で 開催します。

総会後には 農福連携の事例紹介と 懇親の場を 計画しています。ご予約願います。